

北海道教育大学生涯メールサービス利用規約

(目的)

第1条 北海道教育大学（以下「本学」という。）が提供する本学の生涯メールサービスは、学生に入学時から卒業後も生涯にわたり利用できるメール送受信サービス及び各種機能（以下「本サービス」という。）により、本学からの情報発信及び情報交換等を通じて、卒業後も本学と交流できる機会を提供することを目的としています。

(利用者)

第2条 本サービスを利用できる方は、本学を卒業又は修了した者及び本学が認めた者（以下「利用者」という。）とします。

(サービスの利用)

第3条 利用者が本サービスを利用する際は、内容の信頼性、正確性などについて利用者が判断し、利用者の責任とリスク負担のもと利用することに同意するものとします。

2 利用者は、本サービス利用における自身の行為について、責任を負います。投稿等が法令違反や著作権等の権利侵害にあたる場合には、損害賠償などの民事責任の他、刑事責任を問われる可能性があります。また、利用者が本サービスを通じて発信する内容については、著作権、肖像権など法令上の義務に従っているか、また、データの保存、複製利用などの可能性等についても、利用者自身の責任で行うこととします。

(利用目的)

第4条 本学が本サービスで取得した利用者のメールアドレスは、以下の4つの目的で利用します。

- (1) 生涯メールアドレス宛てのメールを希望アドレスに転送するため
- (2) 本学からのお知らせをメール配信するため
- (3) 本学関連の同窓会及び後援会の活動支援のため
- (4) その他関係法令等に違反しない範囲で、本学が処理する事務及び事業に必要と認められた利用目的のため

(個人情報の第三者提供)

第5条 本学は、次のいずれかに該当する場合には、利用者のメールアドレス、利用履歴及び電子メールの内容等の情報を本学及び利用者以外の者（以下「第三者」という。）に提供することがあります。

- (1) あらかじめ利用者の同意を得た場合
- (2) 法令に基づき提供を義務付けられた場合
- (3) 本サービスの維持もしくは利用目的の達成に必要な範囲内において全部または一部を委託する場合
- (4) その他独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に該当する場合

(知的財産権)

第6条 本サービスを通じて本学が提供する情報（映像、音声、文章、写真、ソフトウェア等）に関する著作権、商標権、特許権その他の知的財産権については、特に明記があるもの以外は、本学に帰属するものとします。

(禁止事項等)

第7条 利用者が本サービスを利用するにあたっては、次の行為を禁止します。

- (1) 本サービスを営利目的、宗教活動又は政治活動等のために利用する行為

- (2) 本サービスによって利用者に提供された情報を、第1条の目的以外の目的で使用する行為
- (3) 誹謗、中傷、わいせつ及びこれらに類する文書又は図画等を頒布する行為
- (4) 他の利用者のアドレス又はパスワードを不正に使用する行為
- (5) 本サービスを用いて虚偽又は架空の身分等を詐称する等の行為
- (6) 他人に迷惑又は不利益を与える行為
- (7) 他人の財産権、プライバシーその他の権利を侵害する等の行為
- (8) マルチ商法、ネズミ講及びネットワークビジネスに勧誘する行為
- (9) 他人の電話番号、住所等の個人情報を無断で公開する行為
- (10) 犯罪行為及びそれに結びつく行為並びに公序良俗に違反する行為
- (11) 本サービスに支障をきたすおそれのある行為及び本学が不相当と判断した行為
(利用料金)

第8条 本サービスの利用は無料です。ただし、利用者が契約しているプロバイダーの接続料、電話料金、携帯電話の通信料等は利用者の負担となります。

(サービスの中断・中止)

第9条 本学は、本サービスをいつでも任意の理由で中断あるいは中止することがあります。

2 前項の規定によりサービスを中断あるいは中止する場合には、本学は、利用者を含むいかなる者に対しても、サービスの中断あるいは中止に伴い生じる損害、損失その他の費用の賠償又は補償を免れるものとします。

3 第7条に掲げる行為が確認された場合、本学は、事前に通知することなく、登録情報の変更、登録の抹消、掲載情報の抹消・削除等の然るべき処置をとることがあります。

(サービスの終了)

第10条 本学は、本サービスの全部又は一部を終了させることがあります。

2 前項の規定によりサービスを終了する場合には、本学は、利用者を含むいかなる者に対しても、サービスの終了に伴い生じる損害、損失その他の費用の賠償又は補償を免れるものとします。

(利用責任)

第11条 利用者はID及びパスワード等の保管及び取扱いについては、各自で適切な措置を講じることに努めるものとします。

2 本学は、それらが他人によって悪用された場合に生じる不利益又は損害について、一切責任を負いません。

(免責事項)

第12条 本学は、本サービスを利用することによって、利用者を含むいかなる者に対しても、その者が損失あるいは損害を受けた場合及び他人に対して損害を与えた場合は、その一切の責任を負わないものとします。

2 本学は、利用者を含むいかなる者に対しても、その者が本サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等のいかなる保証も行わないものとします。

3 本学は、利用者が使用するいかなる機器及びソフトウェアについても、その動作保証を一切行わないものとします。

4 天変地異、外部からの不法行為による本サービスシステムの破壊もしくは情報の流出その他予期せぬ事故もしくは障害により、利用者を含むいかなる者に不利益となる事態が起こった場合、本学は、それらにより生じるいかなる損害に対しても、その一切の責任を負わないものとします。

(損害賠償)

第13条 本学は、利用者を含むいかなる者が本規約又は法令等に違反して本サービスを利用することにより、本学に損害を与えた場合、その者及びこれに関与した者に対して損害（弁護士費用等を含む。）の賠償を請求することがあります。

(規約の適用)

第14条 本規約は、本サービスを利用するにあたり、利用者が行う一切の行為に適用されるものとします。

2 利用者が本サービスを利用したときは、本規約の内容を承諾したものとみなすとともに、本サービスの基本となるシステムはGoogle(株)が提供する標準サービスを用いており、Google利用規約の内容についても承諾したものとみなされます。また、本規約及びGoogle利用規約が変更されたときも、同様とします。

なお、本規約及びGoogle利用規約を承諾されない場合は、本サービスを利用することはできません。

Google利用規約については、下記のURLを参照下さい。

http://www.google.com/apps/intl/ja/terms/user_terms.html

(規約の変更等)

第15条 本学は、本規約の内容を、事前の予告なしに変更することがあります。

(その他)

第16条 本規約の準拠法は、日本法とします。また、本サービス又は本規約に関連して本学と利用者らとの間で生じた紛争については、札幌簡易裁判所又は札幌地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。